



## **Cisco Unified IP Phone 7975G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 7.0 (SCCP/SIP)**

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
( [www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) ) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。  
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

## 電話機の一般的なタスク

電話機でオンラインヘルプを表示する	 を押します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前後にオフフックにします。
番号をリダイヤルする	<b>[リダイヤル]</b> を押します。あるいは、オフフック中にナビゲーション ボタンを押して、発信履歴ログを参照します。
コール中にハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コール中に、スピーカまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
電話機をミュートにする	 を押します。
履歴を使用する	 を押し、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示し、オフフックにします。
番号を編集する	<b>[編集]</b> << または >> を押します。
コールを保留 / 復帰する	<b>[保留]</b> または <b>[復帰]</b> を押します。
コールを新しい番号に転送する	<b>[転送]</b> を押し、番号を入力してから、 <b>[転送]</b> をもう一度入力します。
インターコムコールを発信する	インターコム ボタンを押し、必要に応じて番号を入力します。トーン音が聞こえたら、通話を開始します。
標準の (アドホック) 会議コールを開催する	<b>[次へ]&gt;</b> <b>[会議]</b> を押し、参加者にダイヤルしてから、再び <b>[会議]</b> を押します。



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-15789-01-J



クイック リファレンス



## Cisco Unified IP Phone 7975G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 7.0 (SCCP/SIP)

ソフトキーの機能  
電話スクリーンのアイコン  
ボタン アイコン  
電話機の一般的なタスク

## ソフトキーの機能

<b>短縮</b>	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
<b>応答</b>	コールに応答する
<b>戻る</b>	前のヘルプの項目に戻る
<b>割込み</b>	共有回線のコールに参加する
<b>折返し</b>	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
<b>キャンセル</b>	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
<b>C 割込</b>	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
<b>不在</b>	コール転送を設定またはキャンセルする
<b>クリア</b>	レコードまたは設定を削除する
<b>閉じる</b>	現在の画面を閉じる
<b>参加者</b>	会議の参加者を表示する
<b>会議</b>	会議コールを作成する
<b>削除</b>	編集機能を使用しているときに、カーソルの右側にある文字を削除する
<b>詳細 (SCCP のみ)</b>	不在履歴および着信履歴内の複数のコールに関する詳細レコードを開く
<b>ダイヤル</b>	番号をダイヤルする
<b>D 転送 (SCCP のみ)</b>	2 つのコールを相互に転送する
<b>サイレント</b>	サイレントをオンまたはオフにする
<b>編集</b>	履歴の電話番号を編集する
<b>終了</b>	現在のコールまたは現在のインターコム コールを切断する
<b>削除</b>	設定をデフォルトに戻す
<b>終了</b>	前の画面に戻る
<b>G ピック</b>	他のグループまたは別の回線で呼び出し中のコールに応答する
<b>即転送</b>	ボイスメッセージシステムにコールをすぐに転送またはリダイレクトする
<b>参加 (SCCP のみ)</b>	既存の複数のコールを結合して、会議を開催する
<b>リンク</b>	関連のあるヘルプの項目を表示する

メイン	[ヘルプ]メインメニューを表示する
ミーティング	ミーティング会議コールを開催する
次へ	その他のソフトキーを表示する
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられているグループで呼び出し中のコールに回答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピックアップ	グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに回答する
品質	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
復帰	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
保存	選択した設定を保存する
検索	ディレクトリのリストを検索する
選択	メニュー項目またはコールを選択する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ (SCCPのみ)	ビデオ表示モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の上を移動する

## 電話スクリーンのアイコン

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	コールの着信
	オフフック
	オンフック
	使用中の共有回線
	メッセージ受信
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	BLFで監視された回線が使用中
	BLFで監視された回線がアイドル状態
	BLFで監視された回線が呼び出し中(BLFピックアップ)
	短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリスト(回線ステータス不明)
	サイレント状態の回線(BLF機能)
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向オーディオのインターコム回線
	双方向オーディオのインターコム回線
	ハンドセットを使用中
	ヘッドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
	ビデオが有効(SCCPのみ)

機能へのアクセス	
	機能が割り当て済みのボタン
	モビリティが割り当て済みのボタン
	保留が割り当て済みのボタン
	会議が割り当て済みのボタン
	転送が割り当て済みのボタン
	電話機サービス URL が割り当て済みのボタン
	URL エントリが編集可能(SIPのみ)
	選択されたオプション
	機能が有効

## ボタンアイコン

	メッセージ
	サービス
	ヘルプ
	ディレクトリ
	設定
	音量
	スピーカ
	ミュート
	ヘッドセット

# Contents

---

## はじめに 1

このガイドの使用方法 1

追加情報の入手 2

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアルへのアクセス 2

安全および使用における情報 3

シスコ製品のセキュリティの概要 4

アクセシビリティ機能 4

## 電話機の接続 5

## 電話機の概要 9

ボタンとハードウェアについて 10

回線とコールについて 14

回線およびコールのアイコンについて 14

タッチスクリーンの機能 16

タッチスクリーンの項目の選択 17

タッチスクリーンのクリーニングと保守 17

機能ボタンとメニューについて 18

電話機のヘルプ システムの使用 19

機能の可用性について 20

SIP と SCCP の違いについて 21

## 基本的なコール処理 22

コールの発信：基本的なオプション 22

コールの発信：その他のオプション	24
コールへの応答	27
コールの終了	29
コールの保留と復帰	30
ミュートの使用	31
複数のコール間の切り替え	31
進行中のコールを他の電話機に切り替え	32
複数のコールの表示	33
コールの転送	34
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	36
別の電話番号へのコールの転送	37
サイレントの使用	38
会議コールの使用方法	39
会議の各機能の使用方法	39
会議機能の使用方法	39
参加機能の使用方法	40
C 割り込みの使用方法	41
ミーティングの使用方法	41
会議参加者の表示または削除	42
インターコム コール発信と着信	43
<b>応用的なコール処理</b>	<b>45</b>
短縮ダイヤル	45
自分の電話機で他の電話機の着信に応答	47
パークされているコールの保存と取得	49
ハント グループからのログアウト	50
共有回線の使用	51
共有回線について	51
割り込みの使用による共有回線のコールへの参加	52

割り込み機能について	52
割り込み機能の使用方法	53
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	54
BLF の使用による回線の状態の判断	55
安全なコールの送受信	56
不審なコールのトレース	57
重要なコールの優先順位付け	58
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	60
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	61
<b>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法</b>	<b>63</b>
ハンドセットの使用	63
ヘッドセットの使用	64
スピーカフォンの使用	65
ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用	66
<b>電話機の設定の変更方法</b>	<b>67</b>
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	67
タッチスクリーンのカスタマイズ	68
<b>履歴およびディレクトリの使用方法</b>	<b>70</b>
履歴の使用方法	70
ディレクトリ ダイヤリング	74
電話機での社内ディレクトリの使用方法	74
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	76
<b>ボイス メッセージへのアクセス</b>	<b>79</b>
<b>ユーザ オプション Web ページの使用</b>	<b>81</b>
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	81
Web での機能およびサービスの設定	83

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	83
Web での個人アドレス帳の使用方法	83
Web でのファースト ダイヤルの設定	84
アドレス帳同期ツールの使用方法	86
Web での短縮ダイヤルの設定	86
Web での電話機サービスの設定	88
Web でのユーザ設定の制御	90
Web での回線設定の制御	90
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	93
Cisco WebDialer の使用	95
<b>その他の設定オプションについて</b>	<b>97</b>
<b>電話機のトラブルシューティング</b>	<b>100</b>
一般的なトラブルシューティング	100
電話機の管理データの表示	102
Quality Reporting Tool の使用方法	102
<b>シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定</b>	<b>103</b>

## 索引

# はじめに

## このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	必要な操作
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、  を押してください。
安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.5 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタン ライトの意味を調べる	P.10 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
タッチスクリーンについて調べる	P.16 の「タッチスクリーンの機能」を参照してください。
コールを発信する	P.22 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.30 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.31 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.34 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.39 の「会議コールの使用法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.45 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.51 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.63 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法」を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	P.67 の「電話機の設定の変更方法」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.70 の「履歴の使用法」を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	P.79 の「ボイス メッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

## 追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

<http://www.cisco.com/jp>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/all\\_models/openssl\\_license/7900\\_ssllic.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html)

## Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアルへのアクセス

(SCCP 電話機のみ)

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアルは、オーディオとアニメーションを使用して、基本的なコール機能を示します。いくつかの電話機のモデルでは、お使いの PC から e-ラーニング チュートリアルにオンラインでアクセスできます。お使いの電話機のモデルの e-ラーニング チュートリアル (英語のみ) を探すには、次の場所でマニュアルの一覧を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)



---

**(注)** Cisco Unified IP Phone 7975G には e-ラーニング チュートリアルが用意されていませんが、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルを参照すると、IP Phone に共通する機能の概要を学ぶことができます。

---

# 安全および使用における情報

停電およびその他のデバイスの Cisco Unified IP Phone への影響については、この項を参照してください。

## 停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置のリセットまたは再設定をしてから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

## 外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



## 注意

---

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部ヘッドセットだけを使用してください。

---

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)

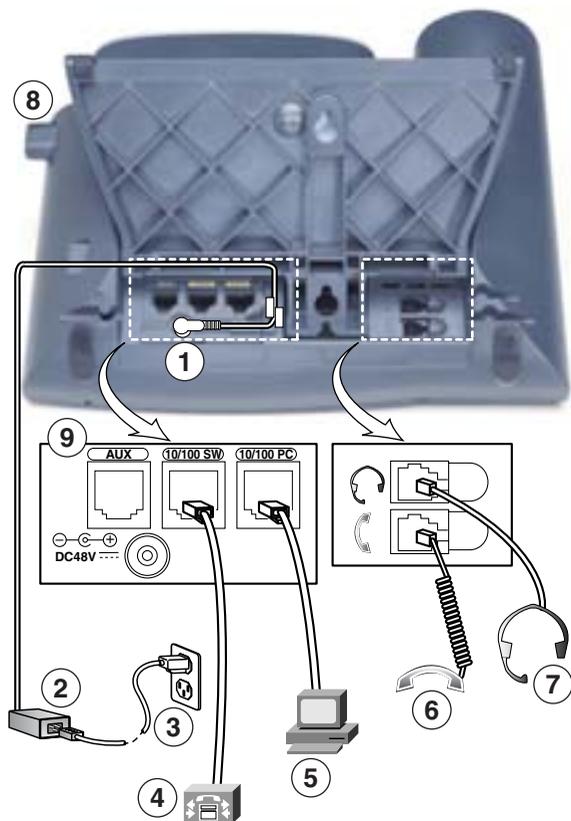
## アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。シスコのアクセシビリティ機能の詳細については、次の URL で参照できます。

[www.cisco.com/go/accessibility](http://www.cisco.com/go/accessibility)

# 電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図および表を参照して、電話機を接続してください。

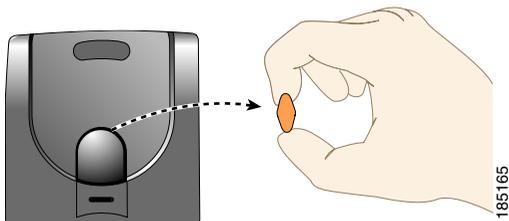


185045

1	DC アダプタ ポート (DC48V)	6	ハンドセット ポート
2	AC-DC 電源装置	7	ヘッドセット ポート
3	AC 電源コード	8	フットスタンド ボタン
4	ネットワーク ポート (10/100 SW)	9	補助ポート (AUX)
5	アクセス ポート (10/100 PC)		

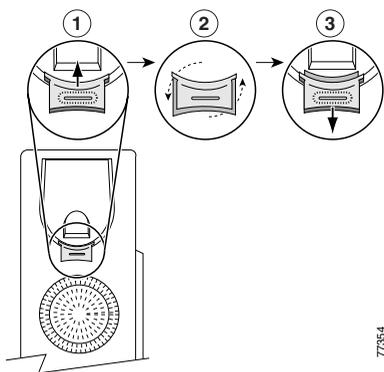
## フックスイッチ クリップの取り外し（必須）

電話機を使用する前に、受け台からフックスイッチ クリップを取り外します。クリップが取り外されていないと、ハンドセットを取り上げたときにフックスイッチがわずかに上がります。



## ハンドセット受け台の調節（オプション）

電話機を壁に取り付ける場合は特に、ハンドセットの受け台を調整することをお勧めします。調整により、ハンドセットが受け台から滑り落ちにくくなります。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

## フットスタンドの調節（オプション）

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンド ボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

## TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support ( TAPS ) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

## ヘッドセットの使用

有線ヘッドセットを使用できます。無線ヘッドセットは、無線ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせると使用できます。

## ヘッドセットについて

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency ( RF; 無線周波数 ) および Audio Frequency ( AF; 可聴周波数 ) が遮蔽されるヘッドセットなど高品質な外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。詳細については、P.3 の「外部デバイスの使用方法」を参照してください。



---

**(注)** 場合によっては、ハム雑音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

---

Cisco Unified IP Phone を実際に展開する場合、環境やハードウェアにより不整合が発生することがあるので、すべての環境に対して最適な唯一のヘッドセットを見出すことは不可能です。

購入を決定し幅広く展開する前に、目的の環境でお客様がヘッドセットをテストしてパフォーマンスを確認することをお勧めします。

## オーディオの品質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、主要なヘッドセットメーカーのさまざまなヘッドセットについて、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。詳細については、メーカーのサイトを参照してください。

無線ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせて使用できる無線ヘッドセットについては、次の URL にアクセスしてください。 <http://www.cisco.com/pcgi-bin/ctdp/Search.pl>

1. [ **Enter Solution** ] ドロップダウン リスト ボックスで [ **IP Communications** ] を選択します。 [ **Select a Solution Category** ] ドロップダウン リスト ボックスが表示されます。
2. [ **IP Phone Headsets** ] を選択して、Technology Development Program パートナーの一覧を表示します。特定の Technology Development Program パートナーを探すには、 [ **Enter Company Name** ] ボックスにパートナーの名前を入力します。

# 電話機の概要

---

Cisco Unified IP Phone 7975G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone 7975G では、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

## ボタンとハードウェアについて

次の図で、電話機のボタンとハードウェアを確認してください。



	項目	説明	参照先または問い合わせ先
1	プログラマブル ボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話回線およびインターコム回線(回線ボタン)</li> <li>短縮ダイヤル番号(短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む)</li> <li>Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど)</li> <li>電話機の機能(プライバシー、保留、転送のボタンなど)</li> </ul> <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール</li> <li> 緑、点滅：コールが保留中</li> <li> オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレント機能がアクティブ、またはハント グループにログイン中</li> <li> オレンジ、点滅：コールが着信中またはコールが復帰中</li> <li> 赤、点灯：リモート回線が使用中(共有回線または BLF ステータス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチスクリーンの機能 (P.16)</li> <li>基本的なコール処理 (P.22)</li> <li>短縮ダイヤル (P.45)</li> <li>共有回線の使用 (P.51)</li> <li>BLF の使用による回線の状態の判断 (P.55)</li> <li>インターコム コールの発信と着信 (P.43)</li> </ul>
2	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	<a href="#">ハンドセット受け台の調節 (オプション)(P.6)</a>
3	ディスプレイ ボタン 	<p>タッチスクリーンをスリープ モードから戻したり、クリーニングのために無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 色なし：入力可能な状態</li> <li> 緑、点滅：無効</li> <li> 緑、点灯：スリープ モードです。</li> </ul>	<a href="#">タッチスクリーンのクリーニングと保守 (P.17)</a>
4	メッセージ ボタン 	サービスによって異なりますが、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします。	<a href="#">ボイスメッセージへのアクセス (P.79)</a>

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	<a href="#">履歴の使用</a> 方法 (P.70)
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ]メニューをアクティブにします。	<a href="#">電話機のヘルプシステム</a> の使用 (P.19)
7	設定ボタン 	[設定]メニューを開閉します。これは、タッチスクリーンと呼出音の設定を変更するために使用します。	<a href="#">電話機の設定の変更</a> 方法 (P.67)
8	サービス ボタン 	[サービス]メニューを開閉します。	<a href="#">ユーザ オプション Web</a> ページの使用 (P.81)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量(オフフック) および呼出音の音量(オンフック)を制御します。	<a href="#">ハンドセット、ヘッド</a> セット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	<a href="#">ハンドセット、ヘッド</a> セット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	<a href="#">ミュートの使用</a> (P.31)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	<a href="#">ハンドセット、ヘッド</a> セット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)

項目	説明	参照先または問い合わせ先
13 4方向のナビゲーションパッドと選択ボタン(中央) 	<p>メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。選択ボタンを使用して、スクリーン上で強調表示された項目を選択します。</p> <p>ナビゲーション ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上下にスクロールすると、メニューを表示し、項目を強調表示できます。</li> <li>• 左右にスクロールすると、複数の列が表示されている場合に水平方向に移動できません。</li> </ul> <p>選択ボタン：ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、行を強調表示してから、次のように使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  を押して、メニューを開きます。</li> <li>•  を押して、呼出音を再生します。</li> <li>•  を押して、スクリーンに表示されている他の機能にアクセスします。</li> </ul> <p> <b>(注)</b> 選択ボタンでは、操作は実行されません。</p>	<a href="#">履歴の使用方法 (P.70)</a>
14 キーパッド	<p>電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。</p>	<a href="#">基本的なコール処理 (P.22)</a>
15 ソフトキー ボタン 	<p>タッチスクリーンに表示されたソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。</p>	<a href="#">タッチスクリーンの機能 (P.16)</a>
16 ハンドセットのライトストリップ	<p>着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>	<a href="#">ボイス メッセージへのアクセス (P.79)</a>
17 タッチスクリーン	<p>電話機能を表示します。</p>	<a href="#">タッチスクリーンの機能 (P.16)</a>

## 回線とコールについて

回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。

- 回線：他の人がコールを発信するために使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。電話機は、最大 8 つの回線をサポートできます。電話機の回線を表示するには、タッチスクリーンの右側を見てください。回線の数、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

## 回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.30 の「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。P.51 の「 <a href="#">共有回線の使用</a> 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.30 の「 <a href="#">コールの保留と復帰</a> 」を参照してください。
	認証されたコール	P.56 の「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.56 の「 <a href="#">安全なコールの送受信</a> 」を参照してください。
	BLF で監視された回線がアイドル状態	P.55 の「 <a href="#">BLF の使用による回線の状態の判断</a> 」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	BLF で監視された回線が使用中	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	BLF で監視された回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF)	P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。
	一方向のインターコムコール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	通話相手がインターコム回線を押して発信者との双方向のオーディオをアクティブにしました。P.43 の「インターコムコールの発信と着信」を参照してください。

## タッチスクリーンの機能

次の図は、メインのタッチスクリーンの外観を示しています。アクティブなコールが存在し、いくつかの機能メニューが開いた状態になっています。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。
2	プログラマブル ボタンのインジケータ	プログラマブル ボタン  は、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、電話機サービス ボタン、電話機の機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンについては、このガイドの先頭にあるクイック リファレンスカードの「電話スクリーンのアイコン」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーのラベルは、指で触れると選択できます。
4	ステータス行	オーディオ モードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コール アクティビティ領域	発信者 ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。この領域の項目は、指で触れると選択できます。P.14 の「回線およびコールのアイコンについて」および P.33 の「複数のコールの表示」を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。このタブを押すと、必要に応じてコール アクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。タブは、指で触れると選択できます。P.18 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。

## タッチスクリーンの項目の選択

電話機のタッチスクリーン上の項目を選択する方法は3つあります。

タッチスクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。  タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷が付くおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーボードで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、4を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーション ボタンを使用して、項目を強調表示します。選択ボタンを押して項目を選択するか、ソフトキーを押して操作を終了します。

## タッチスクリーンのクリーニングと保守

ディスプレイ ボタン  を使用して、タッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイ ボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。

 緑、点灯：タッチスクリーンはスリープモード

 緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作または状態の説明
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	 を1秒以上押します。  が点灯します。 スクリーンは、有効にしない限り、約1分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする(無効にした後)	 (点灯) を1秒以上押します。
タッチスクリーンをスリープモードから起動する	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。  システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、ディスプレイ ボタン  は点灯しています。



**注意** タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

## 機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ヘルプ  ディレクトリ  設定
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[ 終了 ] を押します。メニューの最上位レベルで [ 終了 ] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	タッチスクリーンで機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。タブは機能メニューが開いているときに表示されます。

## 電話機のヘルプシステムの使用

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目はタッチスクリーンに表示されます。

目的	操作または状態の説明
メイン メニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メイン メニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明</li><li>• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順</li><li>• コール機能：コール機能に関する説明や手順</li></ul>
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 を押してから、すばやくタッチスクリーンのメニュー項目を押します。または、メニュー項目を強調表示して  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。数秒待ってから  をもう一度押すか、またはメイン メニューから <b>[ヘルプ]</b> を選択します。

## 機能のオペラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のオペラビリティについては、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できませんが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し 
コール転送	不在	不在転送 
コールパーク	パーク	パーク 
コールピックアップ	ピック	ピック 
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト 
サイレント	サイレント	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了	コールの終了 
グループピックアップ	G ピック	グループピックアップ 
保留	保留	保留 
ハントグループ	ハント	ハントグループ  または ハントグループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID 
ミーティング	ミーティング	ミーティング 
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 
その他のグループピックアップ	他 Grp	その他のグループピックアップ 
品質レポートツール	品質	品質レポートツール 
リダイヤル	リダイヤル	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	最後の参加者の削除 
転送	転送	転送 
ビデオモードコマンド	ビデオ	ビデオ 

## SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

# 基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能のオペラビリティが異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	<a href="#">電話機の概要 (P.9)</a>
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	<a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)</a>
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合は、[発信] を押して、番号を入力します。	<a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)</a>
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態ではナビゲーション ボタンを押し、発信履歴を参照します。	<a href="#">履歴の使用方法 (P.70)</a>
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"><li>[保留] を押します。</li><li>[発信] を押します。</li><li>番号を入力します。</li></ol>	<a href="#">コールの保留と復帰 (P.30)</a>
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"><li> &gt; [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。</li><li>タッチスクリーン上のリストを押します。</li></ol>	<a href="#">履歴の使用方法 (P.70)</a>

## ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してからオフフックにします。オフフックにするには、ハンドセットを取り上げるか、タッチスクリーンで番号を押すか、あるいは [ダイヤル] 、または  を押します。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<< を押して、番号を消去します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(異なる回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> <li>新しい回線で  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。</li> <li>番号を入力します。</li> </ol>	<a href="#">コールの保留と復帰 (P.30)</a>
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> (短縮ダイヤル ボタン) を押します。</li> <li>固定短縮ダイヤル機能を使用します。</li> <li>ファースト ダイヤル機能を使用します。</li> </ul>	<a href="#">短縮ダイヤル (P.45)</a>
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li> &gt; [社内ディレクトリ] を選択します(名前は異なる場合があります)。</li> <li>名前を入力して [検索] を押します。</li> <li>リストを強調表示し、オフフックにします。</li> </ol>	<a href="#">履歴の使用法 (P.70)</a>
Cisco WebDialer を使用して、パーソナル コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。</li> <li>ダイヤルする番号をクリックします。</li> </ol>	<a href="#">モバイルコネク用電話機とアクセスリストの設定 (P.93)</a>
話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに、折返しを使用して通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し] を押します。</li> <li>切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。</li> <li>再びコールを発信します。</li> </ol>	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	<a href="#">BLF の使用による回線の状態の判断 (P.55)</a>

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
プライオリティ (Precedence) コールを発信する (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	<a href="#">重要なコールの優先順位付け (P.58)</a>
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="467 305 963 370">1.  &gt; [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。</li> <li data-bbox="467 378 963 443">2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。</li> </ol>	<a href="#">電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.76)</a>
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="467 459 963 492">1. 番号をダイヤルします。</li> <li data-bbox="467 500 963 597">2. トーンの後、CMC (クライアント マスター コード) または FAC (Forced Authorization Code) を入力します。</li> </ol>	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	<a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.60)</a>
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="467 727 963 816">1. モバイル ボイス アクセスの番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。</li> <li data-bbox="467 824 963 898">2. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li> <li data-bbox="467 906 963 971">3. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li> <li data-bbox="467 979 963 1044">4. 1 を押して会社の IP Phone にコールを発信します。</li> <li data-bbox="467 1052 963 1141">5. ユーザのデスクトップの電話番号以外のデスクトップの電話番号にダイヤルします。</li> </ol>	<a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.60)</a>

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
<p>ファースト ダイヤルを使用してコールを発信する</p>	<p> (注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ファースト ダイヤル] 回線ボタンを押します。</li> <li>2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探します。</li> <li>3. [ダイヤル] を押します。</li> </ol>	<p>Web でのファースト ダイヤルの設定 (P.84)</p> <p>Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.83)</p>
<p>PAB を使用してコールを発信する</p>	<p> (注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [PAB] 回線ボタンを押します。</li> <li>2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。</li> <li>3. [ダイヤル] を押します。</li> </ol>	<p>Web でのファースト ダイヤルの設定 (P.84)</p> <p>Web での個人アドレス帳の使用方法 (P.83)</p>

## コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけで、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
有線ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は、押します。  が点灯している場合は、[ 応答 ] または  (点滅) を押します。  無線ヘッドセットを使用している場合は、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
スピーカフォンで応答する	 、[ 応答 ] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.63)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[ 応答 ] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.30)
コール待機を使用して応答する	[ 応答 ] を押します。	コールの保留と復帰 (P.30)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[ 即転送 ] を押します。	ボイスメッセージシステムへのコールの送信 (P.36)
自動接続コール	自動応答を使用します。	ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用 (P.66)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.49)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答 (P.47)
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [ 応答 ] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.58)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに应答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に应答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。</li> <li>• デスクトップの電話機でコールに应答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</li> <li>• 1 つのリモート接続先でコールに应答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</li> </ul>	<a href="#">Cisco エクステンションモビリティの使用方法 (P.60)</a>

## ヒント

コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [ 終了 ] を押します。
有線ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブに保持するには、[ 終了 ] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [ 終了 ] を押します。 無線ヘッドセットを使用している場合は、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[ 終了 ] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

## コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコン  が発信者 ID のとりに表示され、対応する回線ボタンが緑  に点滅します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やピープ音など、電話回線の設定によって異なる）を1回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留状態のコールの発信者 ID のとりに保留復帰アイコンの動画  を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン （回線の状態によって異なる）を表示する

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。</li><li>2. [保留] を押します。</li></ol>
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。</li><li>2. [復帰] を押します。</li></ol>
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 該当する回線ボタン  または （点滅）を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。<ul style="list-style-type: none"><li>• 回線に復帰コールが1つある場合、そのコールは保留解除されます。</li><li>• 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。</li><li>• 復帰していない保留コールだけが回線にある場合、このコールが保留解除されます。</li></ul></li><li>2. 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。</li></ol>

### ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やピープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。

- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴りません。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。

## ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
マイクロフォンをオンにする	 を押します。
マイクロフォンをオフにする	 を押します。

## 複数のコール間の切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、タッチスクリーンで該当するコールを押すか、そのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> <li>切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。</li> <li>[ 復帰 ] を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。</li> </ol>
異なる回線で接続されているコールを切り替える	<p>切り替え先の回線で  を押します。</p> <p>この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、[ 復帰 ] を押します。</p>
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	<p>[ 応答 ] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、 (点滅) を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。</p>

## 進行中のコールを他の電話機に切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。</li><li>2. 進行中のコールに携帯電話で応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤  に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできません。ただし、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。</li></ol>
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。</li><li>2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に[復帰]を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。</li></ol>

## 複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  を押します。</li><li>2. すぐに回線ボタン  を押します。</li></ol>
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示された回線の  を押します。</p> <p>電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールだけが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

## コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アクティブなコールで <b>[転送]</b> を押します。</li><li>2. 転送先の番号を入力します。</li><li>3. <b>[転送]</b> をもう一度押して転送を完了するか、<b>[終了]</b> を押してキャンセルします。</li></ol> <p> <b>(注)</b> 電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、ハンドセットを置くことによっても転送を完了できます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アクティブなコールで <b>[転送]</b> を押します。</li><li>2. 転送先の番号を入力します。</li><li>3. 相手が応答するのを待ちます。</li><li>4. <b>[転送]</b> をもう一度押して転送を完了するか、<b>[終了]</b> を押してキャンセルします。</li></ol> <p> <b>(注)</b> 電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、ハンドセットを置くことによっても転送を完了できます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"><li>1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。</li><li>2. <b>[選択]</b> を押します。</li><li>3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。</li><li>4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で <b>[D 転送]</b> を押します（<b>[D 転送]</b> を表示するために、必要に応じて <b>[次へ]</b> を押します）。</li></ol> <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> <b>(注)</b> 発信者との通信を継続する場合は、代わりに <b>[参加]</b> を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	<b>[即転送]</b> を押します。詳細については、 <a href="#">P.36の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」</a> を参照してください。

## ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによってコールを完了します。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、**[ 転送 ]**を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- **[ 転送 ]**を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[ 復帰 ]**を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

# ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[ 即転送 ] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[ 即転送 ] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[ 即転送 ] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[ 即転送 ] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作または状態の説明
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[ 即転送 ] を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。</li><li>• 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。</li></ul>

## ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[ 即転送 ] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

## 別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）: 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）: 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線の不在転送を設定する	[ 不在 ] ソフトキーまたは [ 不在転送 ] ボタンを押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[ 不在 ] ソフトキーまたは [ 不在転送 ] ボタンを押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次の表示を確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• プライマリの電話番号の上にコール転送アイコンが表示されている。</li><li>• ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。</li></ul>

### ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

## サイレントの使用

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント] と [コール転送] の両方が有効になっている場合は、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。  電話機に「サイレント」と表示され、サイレントを示す  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	サイレントの設定値がユーザ オプション ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"><li>ユーザ オプション Web ページにログインします。P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください。</li><li>ドロップダウン メニューから [ユーザオプション] &gt; [デバイス] を選択します。</li><li>次のオプションを設定します。<ul style="list-style-type: none"><li>[サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。</li><li>[DND オプション]: [コール拒否] (音声および表示による通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。</li><li>[DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される): アラートをピープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。</li></ul></li></ol>

# 会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

## 会議の各機能の使用法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[ **会議** ] ソフトキーまたは [ **会議** ] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[ **参加** ] ソフトキーまたは [ **参加** ] ボタンを使用します。
- C 割り込み：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。回線ボタンを押すか、[ **C 割り込み** ] ソフトキーまたはボタンを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ **ミートミー** ] ソフトキーまたはボタンを使用します。

## 会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	操作または状態の説明
会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 接続コールから、[ <b>会議</b> ] ソフトキーまたは [ <b>会議</b> ] ボタンを押します（必要に応じて、[ <b>会議</b> ] を表示するために [ <b>次へ</b> ] ソフトキーを押します）。</li><li>2. 参加者の電話番号を入力します。</li><li>3. コールの接続を待ちます。</li><li>4. [ <b>会議</b> ] ソフトキーまたは [ <b>会議</b> ] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。</li><li>5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。</li></ol>
既存の会議に新しい参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.42 の「 <b>会議参加者の表示または削除</b> 」を参照してください。

## 参加機能の使用方法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	操作または状態の説明
単一の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アクティブなコールで会議に含める別のコールを強調表示し、<b>[ 選択 ]</b>を押します。 選択したコールにアイコン  が表示されます。</li><li>2. 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。</li><li>3. <b>[ 参加 ]</b>を押します（必要に応じて<b>[ 次へ ]</b>ソフトキーを押して、<b>[ 参加 ]</b>を表示します）。</li></ol>
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アクティブなコールで<b>[ 参加 ]</b>を押します（必要に応じて<b>[ 次へ ]</b>ソフトキーを押して、<b>[ 参加 ]</b>を表示します）。</li><li>2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。<ul style="list-style-type: none"><li>• コールが結合されます。</li><li>• 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、<b>[ 選択 ]</b>を押してから、<b>[ 参加 ]</b>を押します。</li></ul><p> <b>(注)</b> 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p></li></ol>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<b>[ 参加者 ]</b> または <b>[ 会議リスト ]</b> を押します（必要に応じて、先に <b>[ 次へ ]</b> ソフトキーを押します）。P.42の「 <a href="#">会議参加者の表示または削除</a> 」を参照してください。

## ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから**[ 参加 ]**を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者IDが「会議」に変わります。
- **[ 参加 ]**ソフトキーまたは**[ D 転送 ]**ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認してください。

## C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	操作または状態の説明
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線の回線ボタンを押します。  場合によっては、コールを強調表示し、[ C 割込 ] を押して操作を完了する必要があります。  詳細については、P.52 の「割り込みの使用による共有回線のコールへの参加」を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.42 の「会議参加者の表示または削除」を参照してください。

## ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	操作または状態の説明
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。</li><li>2. 参加者に番号を配布します。</li><li>3. 会議を開催する準備ができたら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、[ ミーティング ] を押します。</li><li>4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。</li></ol> <p> <b>(注)</b> 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	ミーティング会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。  <p> <b>(注)</b> 会議の開催者の参加より前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>

目的	操作または状態の説明
ミーティング会議を終了する	参加者全員が、切断する必要があります。  会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。

## ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全なミーティング会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、P.56の「[安全なコールの送受信](#)」を参照してください。

## 会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	[参加者] または [会議リスト] を押します。  会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除] ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.39の「 <a href="#">会議機能の使用方法</a> 」を参照してください。

## インターコム コールの発信と着信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く(発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない)。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できません。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用できます。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールの受信または発信ができません。
- インターコム コールを保留にすることはできません。



**(注)** エクステンション モビリティ プロファイルを使用してデスクトップ電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	必要な操作または状態の説明
事前設定したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	● (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	● (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号または相手の短縮ダイヤル番号を入力します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから通話を開始します。

目的	必要な操作または状態の説明
インターコム コールを受信する	<p data-bbox="451 193 1223 256">インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul data-bbox="467 282 1214 456" style="list-style-type: none"><li data-bbox="467 282 1018 310">• 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。</li><li data-bbox="467 326 1214 386">•  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。</li><li data-bbox="467 402 1214 456">• インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で <b>[ 終了 ]</b> を押します。</li></ul>

# 応用的なコール処理

---

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

## 短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- 
- (注)
- 短縮ダイヤルおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.81 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
  - ファースト ダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.76 の「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
  - システム管理者が、短縮ダイヤルを設定することができます。
-

目的	必要な操作または状態の説明
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.86の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、 (短縮ダイヤル ボタン) を押します。</li> </ol> <p> <b>(注)</b> 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.55の「BLFの使用による回線の状態の判断」を参照してください。</p>
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.86の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮]を押します。</li> </ol>
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人アドレス帳エントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.83の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。</li> <li>2. コールを発信するには、電話機からファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.76の「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。</li> </ol>

## 自分の電話機で他の電話機の着信に応答

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。コール処理を同僚と共有する場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	必要な操作または状態の説明
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ <b>ピック</b> ] ソフトキーまたは [ <b>ピック</b> ] ボタンを使用します ( ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります )。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</li> <li>コールが鳴ったら、[ <b>応答</b> ] を押してコールに接続します。</li> </ol>
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ <b>G ピック</b> ] ソフトキーまたは [ <b>グループピックアップ</b> ] ボタンを使用します ( ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります )。</li> <li>グループ ピックアップ 番号を入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</li> <li>コールが鳴ったら、[ <b>応答</b> ] を押してコールに接続します。</li> </ol>
自分のグループまたは関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ <b>他 Grp</b> ] ソフトキーまたは [ <b>他のピックアップ</b> ] ボタンを使用します ( ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります )。 電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</li> <li>コールが鳴ったら、[ <b>応答</b> ] を押してコールに接続します。</li> </ol>
特定の内線 ( 回線番号 ) で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ <b>G ピック</b> ] ソフトキーまたは [ <b>グループピックアップ</b> ] ボタンを使用します ( ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります )。</li> <li>ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。</li> <li>電話機が自動ピックアップをサポートする場合、すぐにコールに接続します。</li> <li>コールが鳴ったら、[ <b>応答</b> ] を押してコールに接続します。</li> </ol>

## ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール(呼び出し中の状態が最も長いコール)からピックアップします。
- [G ピック] ソフトキーまたは [グループピックアップ] ボタンを押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします(回線が使用可能な場合)。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(あるいはその両方)によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。

## パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク:[パーク]ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されるコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク:[転送]ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする使用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号にダイヤルまたは短縮ダイヤルする必要があります。  
[ダイレクトコールパーク]ボタンを使用して、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルしたり、ダイレクトコールパーク番号が使用中か使用可能かを監視したりできます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を押します）。</li> <li>2. 電話機のスクリーンに表示されたコールパーク番号を書き留めます。</li> <li>3. 切断します。</li> </ol>
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクトコールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コール中に [転送] を押します。</li> <li>2. パーク未使用アイコン  が表示された [ダイレクトコールパーク] ボタン  を押し、ダイレクトコールパーク番号に短縮ダイヤルします。 パーク使用中アイコン  が表示された [ダイレクトコールパーク] ボタン  は、そのダイレクトコールパーク番号が使用できないことを示しています。</li> <li>3. もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。</li> </ol>
パークされたコールをダイレクトコールパーク番号から取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。または、パーク取得プレフィックスを入力後に、  の表示された  を押してコールに接続します。

## ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されています。この時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを備えたユーザの Cisco Unified IP Phone 7975G で使用可能な回線ボタンに [ダイレクト コール パーク] ボタンを割り当てることができます。
- [ダイレクトコールパーク] ボタンが電話機にない場合でも、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク番号のステータスは表示されません。

## ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	必要な操作または状態の説明
ハント グループからログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[ハント] ソフトキーまたは [ハントグループ] ボタンを押します。電話機のスクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハント グループのコールを受信する	[ハント] ソフトキーまたは [ハントグループ] ボタンを押します。ログインすると、[ハントグループ] ボタン  が点灯します。

## ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

## 共有回線の使用

次の場合、システム管理者が共有ラインの使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

## 共有回線について

### リモートで使用中のアイコン

共有回線の別の電話に接続コールがある場合、リモートで使用中のアイコン  が表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線では通常どおりにコールの発信や受信を行うことができます。

### コール情報の共有と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID や通話時間などが含まれます(例外については、「[プライバシー](#)」の項を参照)。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、**[ 割り込み ]** または **[ C 割込 ]** を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加することができます。[P.52 の「割り込みの使用による共有回線のコールへの参加」](#)を参照してください。

### プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。[P.54 の「他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」](#)を参照してください。



---

**(注)** 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

---

## 割り込みの使用による共有回線のコールへの参加

割り込み機能 ([ C 割込 ] または [ 割込み ]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます (プライベート コール以外のコールである必要があります。P.51 の「共有回線の使用」を参照してください)。

## 割り込み機能について

### C 割り込みと割り込み

電話機の設定によっては、[ C 割込 ] または [ 割込み ] を使用して、共有回線のプライベート以外のコールに自分自身を追加できます。

- [ C 割込 ] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます (標準の会議の詳細については、P.39 の「会議コールの使用方法」を参照してください)。
- [ 割込み ] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

### ワンボタン割り込みとマルチタッチ割り込み

電話機の割り込み機能がワンボタン機能として動作するか、マルチタッチ機能として動作するかは、システム管理者が決定します。

- ワンボタン割り込みでは、回線ボタンを押してコールに割り込むことができます (回線にコールが 1 つしかない場合)。
- マルチタッチ割り込みでは、コール情報を表示した後で割り込むことができます。

## 割り込み機能の使用法

次の表に、割り込み機能（[ C 割込 ] または [ 割り込み ]）を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	必要な操作または状態の説明
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  の横にある、リモートで使用中のアイコン  を確認します。
共有回線のコールに参加する	共有回線の赤い回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コールに追加されます。</li><li>• 割り込み先のコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、[ 割り込み ] または [ C 割込 ] を押します（必要に応じて [ 次へ ] ソフトキーを押して、[ 割り込み ] または [ C 割込 ] を表示します）。</li></ul>
会議の参加者を表示する（C 割り込みを使用した場合）	P.42 の「 <a href="#">会議参加者の表示または削除</a> 」を参照してください。

## ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるピープ音が鳴ります。[ C 割込 ] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 割り込みを使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

## 他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用し、回線を共有している他者が自分のコールを表示したり自分のコールに割り込んだりする（コールに参加する）のを防止することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [非通知]  を押します。</li><li>2. プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある機能有効アイコン  を確認します。</li></ol>
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [非通知]  を押します。</li><li>2. プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある機能無効アイコン  を確認します。</li></ol>

### ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

## BLF の使用による回線の状態の判断

Busy Lamp Field (BLF) 機能を使用すると、電話機の短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリ リストに関連付けられた電話回線の状態を確認することができます。BLF ピックアップを使用すると、監視対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どの BLF 機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 回線は使用中です。</li> <li> 回線はアイドル状態です。</li> <li> 回線はサイレント状態です。</li> <li> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</li> </ul>
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> +  : 回線は使用中です。</li> <li> +  : 回線はアイドル状態です。</li> <li> +  : 回線はサイレント状態です。</li> <li> +  (点滅) : 回線は呼び出し中です (BLF ピックアップのみ)。</li> <li> : この回線では、BLF インジケータは使用できません。</li> </ul>
BLF ピックアップを使用して、同僚の電話機で呼び出し中のコールに応答する	<p>回線の呼び出し中に [BLF ピックアップ] ボタン  を押します。</p> <p>電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます (回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、[BLF] ボタンを押します)。</p> <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。サポートしていない場合、ユーザが自分でコールに応答するようにユーザ自身の電話機が鳴ります。</p> <p>監視対象の回線が呼び出し中でないときに [BLF ピックアップ] ボタンを押すと、電話機はその回線番号に短縮ダイヤルします。</p>

## ヒント

- 監視対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオ インジケータを再生して通知できる場合があります ( BLF ピックアップのみ )。
- BLF ピックアップは、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します ( 監視対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合 )。

## 安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機は、Cisco IP ネットワーク内で暗号化されたオーディオ ( 会話 ) を送受信しています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **保護されたコール**：電話機は、暗号化されたオーディオ ( 会話 ) を別の電話機との間で送受信しています。保護されたコールは、暗号化されたコールと同等のセキュリティを確保できるだけでなく、より高度なセキュリティも実現します。コールが両端で保護されている場合、会話の最初にセキュリティ トーンが再生されます。保護されたコールが設定された場合、会議コール、共有回線、エクステンション モビリティ、および回線をまたいで参加など一部の機能が使用できません。保護されたコールは認証を受けていません。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機が検証できません。

目的	必要な操作または状態の説明
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ 領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコールまたは会議  暗号化されたコールまたは会議  ノンセキュアなコールまたは会議

目的	必要な操作または状態の説明
接続の相手側の電話機も安全であることを確認する	<p>暗号化を示す鍵のマークのアイコンが表示されていること、およびコールの最初にセキュリティ トーンが聞こえることを確認します。</p> <p>電話機に暗号化されたコールが設定されると、鍵のマークのアイコンが表示されます。ただし、会話が保護されるのは、セキュリティ トーンがコールの最初に再生される場合だけです。セキュリティ トーンの再生は、コールの両端が保護されていることを示します。保護されていない電話機に接続するコールでは、セキュリティ トーンは再生されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



**(注)** 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	必要な操作または状態の説明
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	<p>[ <b>迷惑呼</b> ] ソフトキーまたは [ <b>迷惑呼 ID</b> ] ボタンを押します。</p> <p>電話機でトーンが再生され、電話機に「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。</p>

# 重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的	必要な操作または状態の説明
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティレベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。   <ul style="list-style-type: none"><li>■ プライオリティ コール</li><li>■ 中程度のプライオリティの (即時) コール</li><li>■ プライオリティの高い (フラッシュ) コール</li><li>■ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コールまたはエグゼクティブ オーバーライド コール</li></ul> より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

## ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
  - コールを保留にする
  - コールを転送する
  - コールを 3 者会議に追加する
  - [ ピック ] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント機能が無効になります。

# Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使って、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定することができます。EM にログインすると、電話機が、電話回線、機能、設定されたサービス、および Web ベースの設定といったユーザ プロファイルを選択します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
EM へのログイン	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt;[ EM Service ] を選択します( 名前は異なる場合があります )。</li><li>2. ユーザ ID および PIN ( システム管理者より提供されたもの ) を入力します。</li><li>3. 指示がある場合、デバイス プロファイルを選択します。</li></ol>
EM からのログアウト	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt;[ EM Service ] を選択します( 名前は異なる場合があります )。</li><li>2. ログアウトの指示があったら、[ Yes ] を押します。</li></ol>

## ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

# 1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

目的	必要な操作または状態の説明
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。P.93の「モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定」を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	P.27の「コールへの応答」を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	P.32の「進行中のコールを他の電話機に切り替え」を参照してください。
携帯電話で応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [保留] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。</li><li>2. 携帯電話で、[復帰] 名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。P.32の「進行中のコールを他の電話機に切り替え」を参照してください。</li></ol>
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li><li>2. 発信番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li></ol>
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li><li>2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li><li>3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。</li><li>4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを有効化するか 1 台のみで有効化するかを選択します。<ul style="list-style-type: none"><li>• 全電話機で有効にする : 2 を押します。</li><li>• 1 台の電話機で有効にする : 1 を押してからリモート接続先として追加する番号を入力し、直後に # を押します。</li></ul></li></ol>
携帯電話からコールを発信する	P.24の「コールの発信 : その他のオプション」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。</li> <li>2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。</li> <li>3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。</li> <li>4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを無効化するか 1 台のみで無効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全電話機で無効にする：2 を押します。</li> <li>• 1 台の電話機で無効にする：1 を押してからリモート接続先として削除する番号を入力し、直後に # を押します。</li> </ul> </li> </ol>
すべてのリモート接続先へのモバイル コネクトアクセスをデスクトップの電話機で有効または無効にする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[モビリティ]</b> を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。</li> <li>2. <b>[選択]</b> を押して、ステータスを変更します。</li> <li>3. <b>[終了]</b> を押します。</li> </ol>

## ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイル ボイス アクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
  - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
  - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
  - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。この場合はシステム管理者に連絡してサポートを受けてください。

# ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機と一緒に使用できるオーディオ デバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオ デバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。

ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオ デバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

## ハンドセットの使用

目的	必要な操作または状態の説明
オフフックにする	ハンドセットを取り上げます。
オンフックにする	ハンドセットを受け台に戻します。
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 [保存] を押して、将来のコールのために音量レベルを保存します。

## ヘッドセットの使用

電話機では、有線ヘッドセット用に4線または6線のヘッドセットジャックがサポートされています。また、無線ヘッドセットもサポートされています。ヘッドセットの購入については、P.7の「ヘッドセットについて」を参照してください。

ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。

ただし、無線ヘッドセットを使用している場合は、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ヘッドセット モードのオン / オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 [保存]を押して、将来のコールのために音量レベルを保存します。

自動応答を使用する場合は、P.66の「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」を参照してください。

### 無線ヘッドセットの使用

無線ヘッドセットのリモート機能の使用方法については、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。また、無線ヘッドセット リモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせて無線ヘッドセットを使用することがお使いの電話機で可能かどうかをシステム管理者に確認してください。

### ヘッドセットでのワイドバンドの使用

ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります(この設定はデフォルトでは無効になっています)。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。

ワイドバンドヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を変更できません。

システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

## スピーカフォンの使用

ハンドセットが受け台に置かれていて、 が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォン モードが自動的に有効になります。

目的	必要な操作または状態の説明
スピーカフォン モードのオン / オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 [ 保存 ] を押して、将来のコールのために音量レベルを保存します。

## ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的	必要な操作または状態の説明
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセット モードを有効（つまり、 が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセット モードを有効にしておくには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [終了] を押して切断します。</li><li>• [発信] または [ダイヤル] を押して、新しいコールを発信します。</li></ul> <p>電話機がヘッドセット モードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを無効（ が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

# 電話機の設定の変更方法

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズすることができます。

## 呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールや新しいボイスメール メッセージの示し方をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
呼出音のトーンを回線ごとに変更する	<ol style="list-style-type: none"><li> &gt; [ ユーザ設定 ] &gt; [ 呼出音 ] を選択します。</li><li>電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。</li><li>呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。</li><li>[ 選択 ] および [ 保存 ] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[ キャンセル ] を押します。</li></ol>
回線ごとに呼出音のパターン (点滅のみ、一度鳴らす、ピープ音のみなど) を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインします (P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください)。</li><li>呼出音のパターン設定にアクセスします (P.90 の「<a href="#">Web での回線設定の制御</a>」を参照してください)。</li></ol> <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスするには、システム管理者がこのアクセスをユーザに対して有効にしておくことが必要な場合があります。</p>
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします( P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください)。</li> <li>2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします( P.90 の「<a href="#">Web での回線設定の制御</a>」を参照してください)。</li> </ol> <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p>

## タッチスクリーンのカスタマイズ

タッチスクリーンの設定は変更できます。

目的	必要な操作または状態の説明
<p>タッチスクリーンの明るさを変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ ユーザ設定 ] &gt; [ 明るさ ] を選択します。</li> <li>2. 調整するには、[ アップ ] [ ダウン ] または  を押します。</li> <li>3. [ 保存 ] または [ キャンセル ] を押します。</li> </ol> <p> (注) 電話機の明るさ設定を変更した後、少なくとも 1 分は電源から切断されないようにします。切断されると、明るさ設定が保存されません。</p>
<p>背景イメージを変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ ユーザ設定 ] &gt; [ 背景イメージ ] を選択します。</li> <li>2. スクロールして利用可能な画像を表示し、[ 選択 ] を押して画像を選択します。</li> <li>3. [ プレビュー ] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。</li> <li>4. [ 終了 ] を押して、選択メニューに戻ります。</li> <li>5. [ 保存 ] を押して新しい画像を受け入れるか、または [ キャンセル ] を押します。</li> </ol>
<p>タッチスクリーンを有効または無効にする</p>	<p>P.17 の「<a href="#">タッチスクリーンのクリーニングと保守</a>」を参照してください。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
タッチスクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください)。</li> <li>2. ユーザ設定にアクセスします (P.90 の「<a href="#">Web でのユーザ設定の制御</a>」を参照してください)。</li> </ol>
回線テキストラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください)。</li> <li>2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.90 の「<a href="#">Web での回線設定の制御</a>」を参照してください)。</li> </ol>
Cisco Unified IP Phone Expansion Module の明るさを調節する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ ユーザ設定 ] &gt; [ 明るさ ] を選択します。</li> <li>2. 調節するには、[ アップ ] [ ダウン ] または  を押します。</li> <li>3. [ 保存 ] または [ キャンセル ] を押します。</li> </ol>
タッチスクリーンの照明をオフにする	システム管理者に連絡し、このオプション機能が使用可能になっているかどうかを確認します。この機能により、タッチスクリーンの照明をあらかじめ決めておいた時間 (システム管理者が設定) にオフにすることができます。

# 履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、ディレクトリ ボタン  を使用します。

## 履歴の使用方法

電話機は、履歴を保持しています。履歴には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴があります。

目的	必要な操作または状態の説明
履歴を表示する	 > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li><li>2. コール レコードを強調表示します。</li><li>3. [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報（発信履歴と着信履歴の場合のみ）が表示されます。</li></ol>
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押してから [クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li><li>2. コール レコードを強調表示します。</li><li>3. [クリア] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します）。</li></ol>
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li><li>2. コール レコードを強調表示します。</li><li>3. [削除] を押します。</li></ol>

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li> <li>2. コールレコードを強調表示します。</li> </ol> <hr/> <p>(注)  [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「ヒント」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押しします。次に、&lt;&lt;または&gt;&gt; を押しします。番号を削除するには、[編集] を押しした後、[削除] を押しします（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押しします）。</li> <li>4. オフフックにしてコールを発信します。</li> </ol>

目的	必要な操作または状態の説明
履歴からダイヤルする（別のコールに接続した状態）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li> <li>2. コールレコードを強調表示します。</li> </ol> <hr/> <p>(注) [詳細] ソフトキーが表示された場合、コールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述する「<a href="#">ヒント</a>」の項を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押しします。次に、&lt;&lt;または&gt;&gt; を押しします。番号を削除するには、[編集] を押しした後、[削除] を押しします（必要に応じて、[削除] を表示するために [次へ] ソフトキーを押しします）。</li> <li>4. [ダイヤル] を押しします。</li> <li>5. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [保留]: 最初のコールを保留にし、2番目のコールをダイヤルします。</li> <li>• [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押しします）。</li> <li>• [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押しします）。</li> <li>• [終了]: 最初のコールを切断し、2番目のコールをダイヤルします。</li> </ul> </li> </ol>
履歴内の回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する	<p>ビジーランプフィールドのインジケータを確認します。P.55 の「<a href="#">BLFの使用による回線の状態の判断</a>」を参照してください。</p>
履歴の URL エントリからコールを発信する（SIP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</li> <li>2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。</li> <li>3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押しします。</li> <li>4. @ アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることが示されます。</li> <li>5. [ダイヤル] を押しします。</li> </ol>

## ヒント

- (SCCP 電話機 /SIP 電話機)お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機のみ)マルチパーティコール(転送されてきたコールなど)の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細]を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティコールごとに2つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
  - 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
  - 2番目に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち一番初めに完了したコールの名前と番号です。

# ディレクトリ ダイヤリング

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナル ディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナル ディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コードです。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book ( PAB; 個人アドレス帳 ) とファースト ダイヤルで構成されます。
  - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
  - ファースト ダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

## 電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続していない状態）	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [ 社内ディレクトリ ] を選択します（名前は異なる場合があります）。</li><li>2. キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[ 検索 ] を押します。</li><li>3. ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。</li></ol>

目的	必要な操作または状態の説明
社内ディレクトリログからダイヤルする（別のコールに接続している状態）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。</li> <li>2. キーボードを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。</li> <li>3. リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。</li> <li>4. 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [保留]: 最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。</li> <li>• [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。</li> <li>• [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します）。</li> <li>• [終了]: 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。</li> </ul> </li> </ol>
ディレクトリ内の電話回線が使用中であるかどうかを確認する	Busy Lamp Field (BLF; ピジー ランプ フィールド) のインジケータを確認します。P.55 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。

## ヒント

キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。

## 電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。または、P.83の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
パーソナルディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイヤルコードを使用する場合)	<ol style="list-style-type: none"><li>1.  &gt; [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。</li><li>2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。</li></ol>
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。</li><li>2. 検索条件を入力し、[送信] を押します。</li><li>3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。</li><li>4. 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。</li></ol>
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. リスト項目を検索します。</li><li>2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。</li><li>3. [ダイヤル] を押します (必要に応じて、[ダイヤル] を表示するために [次へ] ソフトキーを押します)。</li><li>4. 参加者の電話番号を入力します。</li><li>5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。</li><li>6. もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。</li></ol>
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. リスト項目を検索します。</li><li>2. そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。</li><li>3. [削除] を押します。</li><li>4. [OK] を選択して、削除することを確認します。</li></ol>
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. リスト項目を検索します。</li><li>2. そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。</li><li>3. 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。</li><li>4. [更新] を押します。</li></ol>

目的	必要な操作または状態の説明
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[ 個人アドレス帳 ] を選択します。</li> <li>2. [ 送信 ] を選択することで、[ 検索 ] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。</li> <li>3. [ 新規 ] を押します。</li> <li>4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。</li> <li>5. [ 電話 ] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセス コード (9 または 1 など) を必ず含めます。</li> <li>6. [ 送信 ] を選択して、エントリをデータベースに追加します。</li> </ol>
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PAB エントリを検索します。</li> <li>2. そのリスト項目を強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> <li>3. [ ファーストダイヤル ] を押します。</li> <li>4. ダイヤルする番号を強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> <li>5. 番号に割り当てるファースト ダイヤル コードを強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> </ol>
新規ファースト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ パーソナルディレクトリ ] &gt; [ 個人ファーストダイヤル ] を選択します。</li> <li>2. [ ファーストダイヤル ] を押します。</li> <li>3. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードを強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> <li>4. [ 割り当て ] を押します。</li> <li>5. 電話番号を入力します。</li> <li>6. [ 更新 ] を押します。</li> </ol>
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ パーソナルディレクトリ ] &gt; [ 個人ファーストダイヤル ] を選択します。</li> <li>2. [ 前へ ] または [ 次へ ] を選択して、リスト内を移動できます。</li> <li>3. 必要なリスト項目を強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> </ol>
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファースト ダイヤル コードを検索します。</li> <li>2. 必要なリスト項目を強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> <li>3. [ ダイヤル ] を押します。</li> <li>4. [ OK ] を選択して、操作を完了します。</li> </ol>

目的	必要な操作または状態の説明
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファースト ダイアル コードを検索します。</li> <li>2. 必要なリスト項目を強調表示し、[ 選択 ] を押します。</li> <li>3. [ 削除 ] を押します。</li> </ol>
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; [ パーソナルディレクトリ ] を選択します ( 名前は異なる場合があります )。</li> <li>2. [ ログアウト ] を選択します。</li> </ol>

## ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナル ディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナル ディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーボードの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コール ディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

# ボイス メッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を使用します。



**(注)** お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されず。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	 を押し、音声の指示に従います。 タッチスクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイス メッセージの着信を確認する	次の表示を確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.67 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください）。</li><li>• メッセージ受信アイコン  の点滅、およびタッチスクリーンのテキスト メッセージ。</li></ul> <p> <b>(注)</b> 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にボイス メッセージがある場合のみ表示されず。プライマリ回線以外でボイス メッセージを受信しても表示されません。</p> 次の音を確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッタ音。</li></ul> <p> <b>(注)</b> スタッタ音は回線によって異なります。この音はメッセージを受信済みの回線を使用している場合にのみ聞こえます。</p>

目的	必要な操作または状態の説明
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージ メニューにアクセスする	 を押します。 このボタンを押すことにより、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはタッチスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、お使いのボイス メッセージ サービスによって異なります。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	<b>[ 即転送 ]</b> を押します。詳細については、 <a href="#">P.36 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」</a> を参照してください。

# ユーザ オプション Web ページの使用

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

## ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

目的	必要な操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。</li><li>2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。</li><li>3. セキュリティ設定を受け入れるように求められた場合は、[はい]または[証明書のインストール]をクリックします。</li></ol> <p>Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメイン Web ページが表示されます。このページで [ユーザオプション] を選択すると、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイヤルにアクセスできます。</p> <p>または、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します (次を参照)。</p>

目的	必要な操作
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインした後に、[ <b>ユーザオプション</b> ] &gt; [ <b>デバイス</b> ] を選択します。 [ デバイス設定 ] ページが表示されます。</li> <li>2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [ 名前 ] ドロップダウンメニューから選択します。</li> </ol> <p> <b>(注)</b> [ デバイス設定 ] ページの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。</p>
ログイン後に設定オプションを選択する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ <b>ユーザオプション</b> ] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファーストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。</li> <li>2. 他のページから [ デバイス設定 ] ページに戻るには、[ <b>ユーザオプション</b> ] &gt; [ <b>デバイス</b> ] を選択します。</li> </ol>

## Web での機能およびサービスの設定

この項では、ログイン後、ユーザ オプション Web ページで機能およびサービスを設定する方法について説明します。ログインについては、P.81 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

## Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



**(注)** PAB およびファースト ダイヤルには、電話機からもアクセスできます。P.76 の「[電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

## Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
新規 PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション] &gt; [個人アドレス帳] を選択します。</li><li>2. [新規追加] をクリックします。</li><li>3. エントリの情報を入力します。</li><li>4. [保存] をクリックします。</li></ol>
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション] &gt; [個人アドレス帳] を選択します。</li><li>2. 検索情報を指定し、[検索] をクリックします。</li></ol>
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. PAB エントリを検索します。</li><li>2. 名前またはニックネームをクリックします。</li><li>3. エントリを必要に応じて編集し、[保存] をクリックします。</li></ol>
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. PAB エントリを検索します。</li><li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li><li>3. [選択項目の削除] をクリックします。</li></ol>

## Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログイン後に必要な操作
ファーストダイヤルコードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"><li>1. PAB エントリを作成します。P.83 の「Web での個人アドレス帳の使用法」を参照してください。</li><li>2. [ユーザオプション]&gt;[ファーストダイヤル]を選択します。</li><li>3. [新規追加]をクリックします。</li><li>4. [検索オプション]領域を使用して、適切な PAB エントリを検索します。</li><li>5. [検索結果]領域で電話番号をクリックします。</li><li>6. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。</li><li>7. [保存]をクリックします。</li></ol>
ファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない場合)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション]&gt;[ファーストダイヤル]を選択します。</li><li>2. [新規追加]をクリックします。</li><li>3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。</li><li>4. 電話番号を入力します。</li><li>5. [保存]をクリックします。</li></ol>
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション]&gt;[ファーストダイヤル]を選択します。</li><li>2. 検索情報を指定し、[検索]をクリックします。</li></ol>
ファーストダイヤル電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ユーザオプション]&gt;[ファーストダイヤル]を選択します。</li><li>2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。</li><li>3. エントリのコンポーネントをクリックします。</li><li>4. 電話番号を変更します。</li><li>5. [保存]をクリックします。</li></ol>
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ファーストダイヤルを検索します。</li><li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li><li>3. [選択項目の削除]をクリックします。</li></ol>

目的	ログイン後に必要な操作
<p>回線ボタンをファースト ダイヤルに割り当てる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p><b>(注)</b> 回線ボタンをファースト ダイヤルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ サービス URL ] をクリックします。</li> <li>3. [ ボタン ] ドロップダウン リスト ボックスで [ ファースト ダイヤル ] サービスを選択します。</li> <li>4. ボタンの電話ラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 ] をクリックします。</li> <li>6. [ リセット ] をクリックしてから、[ リスタート ] をクリックします。電話機の設定が更新されます。</li> </ol> <p>回線ボタンを押してファースト ダイヤル コードにアクセスできるようになります。</p>
<p>回線ボタンを PAB に割り当てる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  <p><b>(注)</b> 回線ボタンを PAB に割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ サービス URL ] をクリックします。</li> <li>3. [ ボタン ] ドロップダウン リスト ボックスで [ 個人アドレス帳 ] サービスを選択します。</li> <li>4. ボタンの電話ラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 ] をクリックします。</li> <li>6. [ リセット ] をクリックしてから、[ リスタート ] をクリックします。電話機の設定が更新されます。</li> </ol> <p>回線ボタンを押してファースト ダイヤル コードにアクセスできるようになります。</p>

## ヒント

- ファーストダイヤルと PAB のエントリは、最大 500 個まで作成できます。
- 新しいファーストダイヤルエントリは、PAB エントリを使用することなく作成できます。このようなファーストダイヤルエントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキストラベルは表示されません。

## アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期することができます。

Microsoft Windows アプリケーションからの場合: TABSynch ツールを使用して、PAB を Microsoft Windows アドレス帳 (WAB) と同期することができます。Microsoft Outlook アドレス帳 (OAB) を使用する場合は、最初に OAB から Windows アドレス帳 (WAB) にデータをインポートする必要があります。その後、TabSync を使用して WAB をパーソナルディレクトリと同期することができます。

システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳細な説明を提供できます。

## Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



---

**(注)** 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.45 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

---

目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 短縮ダイヤル ] をクリックします。</li> <li>4. 電話機の短縮ダイヤル ボタン ( プログラマブル ボタン ) の番号とラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol> <p style="text-align: center;"></p> <p><b>(注)</b> 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 短縮ダイヤル ] をクリックします。</li> <li>4. 固定短縮コードの番号とラベルを入力します。</li> <li>5. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol>
ファースト ダイヤルを設定する	<p>P.84 の「<a href="#">Web でのファースト ダイヤルの設定</a>」を参照してください。</p> <p>ファースト ダイヤルは、電話機からも設定できます。P.76 の「<a href="#">電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法</a>」を参照してください。</p>



## ヒント

短縮ダイヤル ボタンは、電話機上の、回線ボタンとして予約されていない各プログラマブル ボタンに設定できます。この代わりには、固定短縮ダイヤルまたはファースト ダイヤルを使用してください。

## Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特殊な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場や映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li><li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li><li>3. [ 電話サービス ] をクリックします。</li><li>4. [ 新規追加 ] をクリックします。</li><li>5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[ 次へ ] をクリックします。</li><li>6. サービス ラベルを変更します。また、使用可能な場合は、追加のサービス情報を入力します（オプション）。</li><li>7. [ 保存 ] をクリックします。</li></ol>
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. デバイスを選択します。</li><li>2. [ 電話サービス ] をクリックします。</li><li>3. [ 検索 ] をクリックします。</li></ol>
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. サービスを検索します。</li><li>2. 1 つまたは複数のエントリを選択します。</li><li>3. [ 選択項目の削除 ] をクリックします。</li></ol>
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. サービスを検索します。</li><li>2. サービス名をクリックします。</li><li>3. 情報を変更し、[ 保存 ] をクリックします。</li></ol>

目的	ログイン後に必要な操作
サービスを電話機の使用可能なプログラマブル ボタン  に追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>[ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>[ サービス URL ] をクリックします。  <b>(注)</b> このオプションが表示されない場合は、電話機のサービス URL ボタンの設定をシステム管理者に依頼してください。</li> <li>[ ボタン サービス ] ドロップダウン リストからサービスを選択します。</li> <li>サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  <b>(注)</b> 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</li> <li>[ 保存 ] をクリックします。</li> <li>[ リセット ] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。</li> </ol>
電話機からサービスにアクセスする	<p> (  ) &gt; [ サービス ] を選択します。</p> <p>機能ボタン :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> メッセージ</li> <li> サービス</li> <li> ディレクトリ</li> </ul> <p> <b>(注)</b> 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、電話機のシステム管理者にお問い合わせください。</p> <p> <b>(注)</b> 設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからサービスを選択します。</p>

## Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ ユーザ設定 ] を選択します。</li><li>2. [ ブラウザのパスワード ] 領域に情報を入力します。</li><li>3. [ 保存 ] をクリックします。</li></ol>
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ ユーザ設定 ] を選択します。</li><li>2. [ 電話の PIN ] 領域に情報を入力します。</li><li>3. [ 保存 ] をクリックします。</li></ol>
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ ユーザ設定 ] を選択します。</li><li>2. [ ユーザロケール ] 領域で、[ ロケール ] ドロップダウン リストから項目を選択します。</li><li>3. [ 保存 ] をクリックします。</li></ol>
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ ユーザ設定 ] を選択します。</li><li>2. [ ユーザロケール ] ドロップダウン リストから項目を選択します。</li><li>3. [ 保存 ] をクリックします。</li></ol>

### ヒント

PIN とパスワードは、さまざまな機能やサービスにアクセスするために使用します。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## Web での回線設定の制御

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ回線のコール転送を設定する：[P.37 の「別の電話番号へのコールの転送」](#)を参照してください。
- 呼出音、表示、および他の電話機モデルに固有の設定を変更する：[P.67 の「電話機の設定の変更方法」](#)を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとのコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 ] をクリックします。</li> <li>4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[ 回線 ] ドロップダウン メニューから回線を選択します。</li> <li>5. [ 着信コールの転送 ] 領域で、コール転送設定を選択して、さまざまな条件を設定します。</li> <li>6. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol>
回線ごとにボイス メッセージのインジケータ（ランプ）の設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 ] をクリックします。</li> <li>4. 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[ 回線 ] ドロップダウン メニューから回線を選択します。</li> <li>5. [ メッセージ受信ランプ ] 領域で、さまざまな設定から選択します。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol>

目的	ログイン後に必要な操作
回線ごとにオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設 定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 ] をクリックします。</li> <li>4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[ 回線 ] ドロップダウン メニューから回線を選択します。</li> <li>5. [ オーディオメッセージ受信インジケータ ] 領域で、さまざまな設定から選択します。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p><b>(注)</b> 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライト ストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol>
電話スクリーンに表示される回 線テキスト ラベルを変更また は作成する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ デバイス ] を選択します。</li> <li>2. [ 名前 ] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。</li> <li>3. [ 回線の設定 ] をクリックします。</li> <li>4. 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[ 回線 ] ドロップダウン メニューから回線を選択します。</li> <li>5. [ 回線のテキストラベル ] 領域に、テキスト ラベルを入力します。</li> <li>6. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p><b>(注)</b> 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> </div>

## モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

モバイル コネクトを使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機を *リモート接続先* といいます。また、アクセス リストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

目的	ログイン後に必要な操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ モビリティの設定 ] &gt; [ アクセスリスト ] を選択します。</li><li>2. [ 新規追加 ] をクリックします。</li><li>3. アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。</li><li>4. 指定されたコールをアクセス リストで許可するかブロックするかを選択します。</li><li>5. [ 保存 ] をクリックします。</li><li>6. [ メンバの追加 ] をクリックし、電話番号またはフィルタをリストに追加します。</li><li>7. [ フィルタマスク ] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。</li><li>8. [ フィルタマスク ] ドロップダウン リスト ボックスから電話番号を選択する場合、[ DN マスク ] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。<ul style="list-style-type: none"><li>- X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。</li><li>- !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。</li><li>- #: 完全一致する数字 1 字として使用します。</li></ul></li><li>9. アクセス リストにこのメンバを追加するには、[ 保存 ] をクリックします。</li><li>10. アクセス リストを保存するには、[ 保存 ] をクリックします。</li></ol>

目的	ログイン後に必要な操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ ユーザオプション ] &gt; [ モビリティの設定 ] &gt; [ リモート接続先 ] を選択します。</li> <li>2. [ 新規追加 ] をクリックします。</li> <li>3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [ 名前 ]: 携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。</li> <li>- [ 着信先番号 ]: 携帯電話の番号を入力します。</li> </ul> </li> <li>4. ドロップダウン リスト ボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されます。</li> <li>5. [ 携帯電話 ] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。</li> <li>6. [ モバイルコネクットの有効化 ] チェックボックスを選択します。デスクトップの電話機と同時にリモート接続先でも呼出音が鳴るようになります。</li> <li>7. [ 呼び出しスケジュール ] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [ すべての時間 ]: リモート接続先の呼び出しについて曜日や時間帯の制限を設けない場合にこのオプションを選択します。</li> <li>- [ 以下に指定 ]: 曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択後、次の項目から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。</li> <li>• 曜日ごとに [ 終日 ] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。</li> <li>• ドロップダウン リスト ボックスからタイムゾーンを選択します。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>8. 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [ この接続先を常に呼び出し ]</li> <li>- [ ユーザが選択した許可アクセスリストに発信者が登録されている場合のみ、この接続先を呼び出す ]</li> <li>- [ ユーザが選択した拒否アクセスリストに発信者が登録されている場合、この接続先を呼び出さない ]</li> </ul> </li> </ol> <p style="margin-top: 10px;"> <b>(注)</b> 呼び出しスケジュールのドロップダウン リスト ボックスには、作成したアクセス リストだけが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. [ 保存 ] をクリックします。</li> </ol>

## Cisco WebDialer の使用

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。システム管理者は、この機能を設定する必要があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.81 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください。</li><li>2. [ユーザオプション] &gt; [ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。</li><li>3. ダイアルする番号をクリックします。</li><li>4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。</li><li>5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。</li><li>6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。</li></ol>
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの）で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。</li><li>2. ダイアルする番号をクリックします。</li><li>3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。</li><li>4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。</li><li>5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで電話機からコールが発信されます。</li><li>6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。</li></ol>
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。

目的	必要な操作または状態の説明
WebDialer の初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[ 初期設定 ] ページにアクセスします。</p> <p>[ 初期設定 ] ページは、WebDialer を初めて使用するとき (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p>後で [ 初期設定 ] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[ 初期設定 ] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ 優先する言語 ]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。</li> <li>• [ 常設の電話を使う ]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します (電話機のホスト名を表示するには、 &gt; [ ネットワークの設定 ] &gt; [ ホスト名 ] を選択します)。</li> <li>• [ エクステンションモビリティを使用する ]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。</li> <li>• [ コールの確認ダイアログを表示しない ]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。</li> </ul>

# その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。

この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)

日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/index\\_ipt\\_ipp.shtml](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ipt_ipp.shtml)

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。  追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。  または、Cisco Unified IP Phone Expansion Module を Cisco Unified IP Phone 7975G に接続してください。	参照先 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">短縮ダイヤル (P.45)</a></li><li>• <i>Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 電話ガイド</i></li><li>• <i>Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7915 電話ガイド</i></li><li>• <i>Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7916 電話ガイド</i></li></ul>

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager Assistant</li> <li>• 共有回線</li> </ul>	<p>参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">共有回線の使用 (P.51)</a></li> <li>• <i>Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザガイド</i></li> </ul>
1つの内線を複数の電話機で使用する	<p>共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。</p>	<p><a href="#">P.51の「共有回線の使用」</a>を参照してください。</p>
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザー プロファイルを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">応用的なコール処理 (P.45)</a></li> <li>• <a href="#">共有回線の使用 (P.51)</a></li> <li>• <a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.60)</a></li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p><a href="#">P.66の「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」</a>を参照してください。</p>
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	<p>Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオ カメラを使用してビデオ コールを発信できます。</p>	<p>詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、<a href="#">『Cisco Unified Video Advantage クイックスタートガイド』</a>および<a href="#">『Cisco Unified Video Advantage ユーザガイド』</a>を参照してください。</p>

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
電話機の短縮ダイヤル ボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	P.55 の「 <a href="#">BLF の使用による回線の状態の判断</a> 」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.60 の「 <a href="#">Cisco エクステンション モビリティの使用方法</a> 」を参照してください。

# 電話機のトラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

## 一般的なトラブルシューティング

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。</li><li>• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要があります (SCCP 電話機のみ)。</li><li>• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。</li></ul>
設定ボタンが反応しない	システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。
電話機のスクリーンに何も表示されない	一定の非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のためスリープモードに入ります。タッチスクリーンを復帰させるには、ハンドセットを取り上げるか、任意のボタン (  など) を押します。P.17 の「 <a href="#">タッチスクリーンのクリーニングと保守</a> 」を参照してください。
どのような状況でも電話スクリーンが点灯しない	電話機のタッチスクリーンの照明を無効にしている可能性があります。この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。

症状	説明
使用したいソフトキーが表示されない	<p>次の状況の1つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• その他のソフトキーを表示させるために [ 次へ ] を押す必要があります。</li> <li>• 回線の状態を変更する必要があります ( オフフックにする、または接続コールにするなど )。</li> <li>• 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていません。</li> </ul>
[ 割り込み ] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	<p>使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。</p>
[ 割り込み ] を使用して参加したコールが切断される	<p>[ 割り込み ] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。</p>
[ 折返し ] が失敗する	<p>通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。</p>
不在転送を設定しようとする と、電話機にエラーメッセージ が表示される	<p>不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数 ( 最大ホップ カウントとも呼ばれます ) を超えることになる転送先番号が入力された場合です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p>

## 電話機の管理データの表示

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	必要な操作または状態の説明
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ ネットワークの設定 ] を選択し、表示するネットワーク構成項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ ステータス ] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [ モデル情報 ] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ ステータス ] > [ コールの統計 ] を選択します。

## Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool ( QRT ) が設定されることがあります。[ 品質 ] または [ 品質レポートツール ] を押して、システム管理者に情報を送信することができます。設定に応じて、次のように QRT を使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

# シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

---

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN\\_\\_.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html)



# Index

---

## A

ASCII ラベル フィールドのサポート 87

## B

BLF 55

BLF ピックアップ ii, 15, 55

## C

Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer 86

Cisco Unified IP Phone

接続 5

登録 7

トラブルシューティング 100

~のオンライン ヘルプ 19

~の機能の設定 20, 97

~の資料 2

~の図 10

~の高さの調節 6

ハンドセット受け台の確実な取り付け 6

~用 Web ベースのサービス 81

Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 50, 69, 97

Cisco Unified Video Advantage 98

Cisco WebDialer 95

Cisco エクステンション モビリティ 60

CMC 25, 100

## E

EM 60

## F

FAC 25, 100

Forced Authorization Code、「FAC」を参照

## M

MLPP、使用 58

## P

PAB

Web ページでの使用 83

電話機で使用 76

PIN、変更 90

## Q

Quality Reporting Tool 102

T		インターコム回線	15, 43
TABSynch	86		
TAPS	7	う	
Tool for Auto-Registered Phones Support	7	ウisper	15
U		え	
URL ダイアル、履歴から	72	エクステンション モビリティ	60
W		お	
Web ベースのサービス		オーディオ、~の品質	8
設定	81	オーディオ メッセージ受信インジケータ	79
「ユーザ オプション Web ページ」も参照		折返し	24
WebDialer	95	オンフック ダイアル	23
あ		オンライン ヘルプ、使用	19
アイコン		音量	
回線の	14	電話機の呼出音の	67
コールの状態を示す	14	音量ボタン	12
アイドル	15	か	
アドレス帳同期ツール	86	会議コール	
暗号化されたコール	56	~からの参加者の削除	42
安全、警告	3	~の参加者の表示	42
安全な会議	42	~のセキュリティレベル	42
安全なコール	56	~のタイプ	39
い		ミートミー	41
一方向	15	回線	
インストール、Cisco Unified IP Phone	5	共有	51
インターコム コール	43	~でサポートされるコール数	14, 97
		~と BLF の使用	55
		~とコール転送	90

- ～とコールの状態 14
- ～のアイコン 14
- ～の切り替え 31
- ～の説明 14
- ～のテキストラベル 90
- ～のボイスメッセージインジケータの設定 90
- ～のボタン 11
- ～の呼出音のトーン 67
- ～の呼出音のパターン 90
- 表示 16
- 回線ボタン 11
  
- き
- キーパッド 13
- 機能、～のアベイラビリティ 20, 97
- 機能タブ 16
- 機能ボタン
  - サービス 12
  - 設定 12
  - ディレクトリ 12
  - ～の表示 18
  - ヘルプ 12
  - メッセージ 11
- 機能メニュー 18
- 共有回線
  - ～とリモートで使用中のアイコン 51
  - ～の説明 51
  - プライバシーの使用 54
  - 割り込みの使用 52
- 切り替え、コールの 31
  
- く
- クライアント マター コード、「CMC」を参照 25, 100
- グループコールピックアップ 47
  
- け
- 警告、安全 3
- 言語（ロケール）設定 90
  
- こ
- コール
  - 安全な 56
  - 応答 27
  - 回線ごとの最大数 14
  - 回線との違い 14
  - サイレントの使用 38
  - 終了 29
  - 転送 34, 90
  - ～のアイコン 14
  - ～の会議機能 39
  - ～の複数の通話相手 39
  - ～の問題のレポート 102
  - ～の割り込みの防止 54
  - パーク 49
  - 発信 22, 24
  - 表示 16, 33
  - 複数、～の切り替え 31
  - 複数の処理 31
  - ブロック 38
  - 保存と取得 49
  - 保留と復帰 30

ミュート	31
優先順位付け	58
呼び出し中のリダイレクト	47
割り込み	51, 52
コール アクティビティ領域	16
コール パーク	49
コール ピックアップ	47
コール処理	
応用的な	45
基本的な	22
コール待機	27
コール転送	
Web ページでの設定	90
コールの概要モード	33
コールへの応答	27
国際コールのロギング	23, 73, 78
個人アドレス帳、「PAB」を参照	
固定短縮ダイヤル	45, 86
さ	
サービス、～への登録	88
サービス ボタン	12
サイレント	38
し	
自動応答	66
自動ダイヤル	23
社内ディレクトリ	
Web ページでの使用	95
電話機で使用	70, 74
終了、コールの、～のオプション	29

詳細ソフトキー、～でのマルチパーティ コールの表示	71, 72, 73
資料、アクセス	2
す	
ステータス データ、～へのアクセス	100
ステータス行、表示	16
スピーカフォン	
使用方法	63
～で応答	27
～でのコールの発信	22
～のボタン	12
～を使用中に切断	29
スリープ モード、タッチスクリーンの起動	17

## せ

セキュリティ、コールの	56
接続済み	15
切断、～のオプション	29
設定、カスタマイズ	67
設定ボタン	12
選択ボタン	13

## そ

双方向	15
ソフトキー ボタン	
～の説明	13
～のラベル	16

## た

ダイヤル、～のオプション 22, 24

## タッチスクリーン

クリーニング 17

言語の変更 68

コントラストの調節 68

照明の設定 69

スリープモード 17

～の機能 16

無効化と有効化 17

タブ、タッチスクリーン上の 16

## 短縮ダイヤル

使用方法 24

設定 45, 86

～での BLF の使用 45

～の説明 45

～のボタン 11

ラベル 16, 86

## ち

着信履歴、～のレコード 70

## て

ディスプレイ ボタン 11, 17

## ディレクトリ

Web ページでの使用 95

社内 74

電話機で使用 74

パーソナル 74, 76

ディレクトリ ボタン 12

デバイス設定ページ 82

## テレフォニー機能

オーディオメッセージ受信インジケータ  
79

## 転送

～のオプション 34

## 電話回線

～の説明 14

～のボタン 11

表示 16

## 電話機サービス

設定 83

「ユーザオプション Web ページ」も参照

電話タブ 16

## と

登録、電話機サービスの 88

## トラブルシューティング

一般的な 100

「品質」も参照

## な

ナビゲーション ボタン 13

## に

認証されたコール 56

## ね

ネットワーク構成データ、～へのアクセス 100

は			
パーソナルディレクトリ			
Web ページでの使用	83		
電話機で使用	76		
パスワード、変更	90		
発信、コールの、～のオプション	22, 24		
発信者 ID	16		
発信履歴、～のレコード	70		
ハントグループ、ログアウト	50		
ハンドセット			
受け台への確実な取り付け	6		
使用方法	63		
ライトストリップ	13		
ひ			
ビジー ランプ フィールド	55		
品質	102		
ふ			
ファーストダイヤル			
Web ページでの設定	84		
電話機で使用	76		
複数のコール、処理	31		
不在履歴、～のレコード	70		
不審なコール、トレース	57		
復帰、使用	30		
フックスイッチクリップ、取り外し	6		
フットスタンド			
調節	6		
～のボタン	11		
プライバシー			
使用方法	54		
～と共有回線	51		
プレダイヤル	23		
プログラマブル ボタン			
～の説明	11		
～のラベル	16		
へ			
ヘッドセット			
使用方法	63		
～で応答	27		
～でのコールの発信	22		
～のボタン	12		
無線で応答	27		
～を使用中に切断	29		
ヘッドセットのパフォーマンス、全般	7		
ヘルプ、使用	19		
ヘルプ ボタン	12, 33		
ほ			
ボイス メッセージ サービス	79		
ボイス メッセージのインジケータ			
～の設定の変更	90		
～の説明	79		
ボタン	43		
ボタン、特定	10		
保留			
使用方法	30		
～とコールの切り替え	31		
～と転送	34		
保留復帰インジケータ、コールの復帰	30		

## ま

## マルチパーティ コール

～の詳細の表示 71, 72, 73

履歴からの特定 71, 72

## み

ミーティング会議 41

ミュート、使用 31

ミュート ボタン 12

## め

迷惑呼 57

迷惑呼 ID 57

## メッセージ

～のインジケータ 68, 79

～を聞く 79

メッセージ ボタン 11

メニュー、使用方法 18

## も

## モバイル コネクト

有効化 94

## ゆ

## ユーザ オプション Web ページ

アクセス 81

～での機能およびサービスの設定 83

～での電話機サービスの登録 88

優先順位付け、コールの 58

## よ

## 呼出音

カスタマイズ 67

～のインジケータ 13

～の音量 67

呼出音のトーン、変更 67

呼出音のパターン、変更 90

## り

リダイヤル 22

## リモート接続先

作成 94

呼び出しスケジュール 94

リモート接続先の呼び出しスケジュール 94

リモートで使用中のアイコン、共有回線の 51

## 履歴

削除 70

～にある URL エントリからのダイヤル 72

表示とダイヤル 70

## ろ

ログアウト、ハント グループからの 50

## わ

## ワイドバンド

ヘッドセット 64

## 割り込み

使用方法 52

～と共有回線 51

～とプライバシー 54

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

---

**Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).**

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0807R)



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00